

クラス番号	610	担当教員名	寺澤 法弘
テーマ	精神保健福祉分野における SW の実践 ―当事者・家族からの学び―		
著書・論文 研究課題等	<p>【論文】「精神障害を持つ当事者におけるリカバリーに関する研究―N市内の精神障害者小規模作業所を利用する当事者への調査から―」（平成 17 年度修士学位論文） 「WRAP(元気回復行動計画)より得られる体験の意味―WRAP 名古屋の実践を通して―」日本福祉大学社会福祉学会「福祉研究」（第 105 号） 「WRAP(元気回復行動計画)集中クラス参加が、その後には及ぼす影響―集中クラス参加後の実態調査―」日本福祉大学社会福祉学会「福祉研究」（第 106 号）</p> <p>【研究課題】精神疾患当事者におけるリカバリー、PSW 実習、</p>		

ゼミナール概要

キーワード：リカバリー（回復）、当事者、家族、WRAP（元気回復行動計画）、SST（社会生活技能訓練）、

<私の原点> 私は学生時代に精神疾患を持つ人々と出会ったことから PSW の存在を知りました。PSW として働くためには「とにかく実習だ！」と考え精神科病院を 30 ヶ所見学し精神科病院実習を 4 カ所で合計 2 ヶ月間行いました。社会福祉士実習は救護施設へ宿泊して行うなど、実習は精神保健福祉関連の施設で合計 3 ヶ月間行いました。卒業後は PSW ではなく身体障害者授産施設に勤めたものの、自分が働きたい場所とは異なる思いにかられ退職しました。その時に北海道浦河町で活動する「べてるの家」の皆さんと出会い、そのまま押しかけて 1 ヶ月寝食を共にしながら滞在させて頂きました。私の原点には学生時代と「べてるの家」で出会った当事者さん、家族の姿があります。皆さんには、ゼミを活用することで多くの人との出会いを体験して頂きたいと願っています。

<問題意識とゼミでの目標> 我が国の精神保健分野は精神科病床数の多さと長期間の入院者をはじめとする多くの問題を抱えています。また、精神疾患を発症することによって、自分の能力を十分に発揮することが難しい状況になってしまうといったことがあります。しかし、「疾患を経験したからこそ体験できる事もある」「病気になるて良かった」と言う言葉や、多くの方が「リカバリー（回復）」の道を歩んでいるという事実が示すように、精神疾患が人生のすべてを支配するとは言えません。このような我が国の現状において、全てのソーシャルワーカーには「社会資源の紹介や退院時の支援」だけではなく「就労、就学、結婚、出産、育児」までを視野に入れた、その人の「人生」に向き合いかわる覚悟が求められます。その為にゼミでは必要なことに何でも取り組みたいと思います。

<ゼミで取り組むこと>（年度初めに内容・スケジュールをゼミ生と相談して決めます）

3年次 「クライアントと関わる力を身につける」「テーマ決定から執筆スタートへ（卒業論文）」

前期は文献や新聞よりゼミ生個々が関心をもつテーマに関する発表を繰り返すことで、文献を探す、読む、まとめる、伝えるのトレーニングを継続します。夏季休暇中は前期の学びから各自、卒論テーマ設定を目指します。後期は各自が卒論で深めたいテーマについて学びを進め、経過発表会（12月開催、ゼミ4年生に対して現状を発表）に向けて取り組みます。他に4年生とのコンパ、施設見学、ゲスト講師、事例検討、カンファレンス体験、WRAPクラス開催、SSTのスキルを身につける研修等を考えます。3年次末はゼミ合宿（春期休暇）を実施します。*ゼミ合宿では体験型の学びを実施します。2015年度からは、釜ヶ崎(大阪市西成区)でフィールドワーク(2泊3日：ドヤに泊まり午前3時から、路上で生きる方々の状況を学びました)に継続して取り組んでいます。過去の合宿先：岩屋病院の精神科棟（入院体験）、先進事例の見学として浦可べてるの家、ふれあいセンター（沖縄）クッキングハウス（東京）

4年次 「卒業論文の早期完成への取り組み」「国家試験受験対策」

国家試験に対してはゼミ生主体で対策をたてますが、昨年度はテーマを絞った問題作成をしました。卒論に対しては毎回ゼミ内で卒論経過の発表と議論、随時個別指導との併用で早期完成を目指します。SW実践力を身につける為には、大学外での学びが欠かせません、私の実践であるSSTやWRAPへの参加、就労支援施設や精神障害者家族会への関わり、精神科医療機関で開催される行事等の機会を活用して下さい。

担当教員からのメッセージ



皆さんには他者と比較をすることで自分の安心を得るのではなく、自分がどのような行動をとるかを大切にして頂きたいと考えています。その上で、相互に学びあえる豊かな場になることをゼミでは目指します。私は当事者や家族にかかわることが出来る SW の誕生を望んでおり、学生のうちに人間的にも成長して頂きたいと考えています。PSW に限らず様々な分野への進路を考えている皆さん、お越しく下さい。どうぞ宜しくお願いします。